

長崎大第2内科 岡三喜男
河野謙治, 神田哲郎, 斎藤 厚
原 耕平
同 工学部 佐藤智典, 砂本順三
免疫賦活剤(MA-CDA)封入
多糖コーティングリポソームは,
MA-CDA単独投与に比し, C57
BL/6系で3LLに対し, 高い
AMφの抗腫瘍活性を誘導した。

4. 肺癌患者のTリンパ球サブセットの検討

大分医大第2内科 田代隆良
黒田芳信, 川崎紀則, 山崎仁志
後藤陽一郎, 後藤 純
明石光伸, 那須 勝, 糸賀 敬
未治療肺癌患者20例のTリン
パ球サブセットをモノクロー
ナル抗体を用いて解析した。臨床
病期III・IV期群はI・II期群に
くらべOKT 3, OKT 4, OKT
8リンパ球数が減少していた。
OKT 4/OKT 8比は両群に差
はみられなかったが, 治療によ
り低下した。

5. 原発性肺癌患者に対するOK-432負荷時の各種皮内反応の検討。

国療大牟田病院 川原正士
半井一郎, 中村雅博, 高本正祇
石橋凡雄, 篠田 厚
OK-432を負荷した原発性肺
癌患者に, SU-PS, DHA, PPD
の皮内反応を施行した。化学療
法後CR, PR症例におけるSU-
PS皮内反応は, NC, PD症例と
比較し増強する傾向にあった。
紅斑の長径短径の和の1/2が30
mm以上を示す場合は30mm以
下の症例に比し予後良好の傾向
にあった。

6. 各種胸膜炎患者における胸水中CA125の検討

久留米大第1内科 光武良幸
広松雄治, 最所正純, 徳永尚登
市川洋一郎, 加地正郎
同 第2病理 入江康司

各種胸膜炎患者85例について
胸水中CA125を測定検討した。
血清中CA125値は肺癌で53.6%
の陽性率を示した。胸水中CA
125値は, 肺結核群は肺癌群に比
して, 有意に低値を示した。

7. 原発性肺癌患者における腫瘍マーカーの検討

熊本市民病院呼吸器科
岳中耐夫, 福田浩一郎
樋口定信, 志摩 清
原発性肺癌患者において9種
類の血清中成分を検討した。そ
の結果, TPA, IAP, CEA, α_1 -
ATで高率に陽性を認めた。組
織型別, 臨床病期別に検討した
結果でも同様でありこれら4種
の項目は肺癌の腫瘍マーカーと
して有用であるものとする。

8. 肺癌患者における血清NSEの腫瘍マーカーとしての意義について

九州がんセンター呼吸器部
本広 昭, 岩崎昭憲, 三宅 純
台丸尚子, 一瀬幸人, 野下貞寿
石田照佳, 原 信之, 大田満夫
小細胞癌患者(30例)の57%に
血清NSEの上昇がみられ, 小細
胞癌の腫瘍マーカーとして充分
に役立つと考えられた。CEAと
の間に有意な相関はみられな
かった。

9. 原発性肺癌におけるNeuron specific enolase(NSE)の検討

長崎大第2内科 福田正明
鶴川陽一, 松本好幸, 河野謙治
岡三喜男, 荒木 潤, 峯 豊
神田哲郎, 斎藤 厚, 原 耕平
同 放射線部 計屋慧實
小細胞癌で81.3%(13/16)と
最も高い陽性率を示し, とくに
進行症例に高い値を示した。ま
た, 臨床経過とNSEとは相関が
あり, 病変の進展及び治療効果
の判定に有用であった。

10. 肺癌における腫瘍マーカーの検討

熊本中央病院呼吸器科
絹脇悦生, 衛藤安広, 中路丈夫
木山程荘
熊本大第2内科 吉永 健
高月 清
健康人, 良性肺疾患, 原発性
肺癌患者血清にてNeuron
Specific Enolase(NSE), 扁平
上皮癌関連抗原(TA-4)と
CEAを測定した。NSEは非癌陽
性0/35, 小細胞癌陽性8/8, TA-
4は非癌陽性2/35, 扁平上皮癌
陽性9/15, 三法同時測定では肺
癌陽性率は80%であった。

11. 肺癌における癌性胸膜炎の検討

九州がんセンター呼吸器部
野下貞寿, 石田照佳, 岩崎昭憲
三宅 純, 本広 昭, 一瀬幸人
原 信之, 大田満夫
組織型は腺癌が過半数である。
Closed tube thoracostomy dr-
ainageをし, 抗癌剤(Adriamy-
cinが最も効果的)とN-CWSを
注入する方法は, 胸水コントロ
ール率63%, 有効期間は平均6
ヶ月半で, 50%生存期間は, 無
効群の3ヶ月の2倍以上であった。

12. 癌性心のう炎に対するCisplatin注入療法の効果

産業医大呼吸器科 水野 修
檜原勝子, 山崎 裕, 原田 進
城戸優光
同 第2内科 宮崎信義
黒岩昭夫
同 病理 平岡克巳, 馬場謙介
2例の癌性心のう炎(腺癌)に
心のう穿刺排液後, Cisplatin
12.5mg~50mgを注入し, 各々
約100日と30日間再貯溜を認め
なかった。Cisplatinによる全身
的, 局所的な副作用を認めず,
剖検にて同療法の効果が確認さ
れた。